

科目名 単位・時間	在宅看護論 (6単位 180時間)			対象者	23・24期生
担当講師名	第一看護学科 専任教員(臨床経験有) 非常勤講師 済生会ならしの訪問看護ステーション 保健師/看護師 非常勤講師 初石病院訪問看護室 看護師 他			年次・時期	2年次～3年次
概要	<p>在宅看護論は、地域(生活の場)で療養する人とその家族を対象として理解し、セルフケア能力を高めるための支援や社会資源の活用・多職種との協働と連携の必要性を含めて包括的に学ぶ統合分野です。在宅看護概論では、在宅看護の対象及び場の理解と看護の役割について学びます。在宅生活援助技術では、最新世界の福祉機器を一堂に集めた「国際福祉機器展」に参加し、在宅療養者及び家族のQOL維持・向上に向けた援助の具体的方法を考えます。在宅療養者の状態別看護では、特に多い症状・状態別看護を学びます。医療依存度の高い在宅療養者の看護については、在宅への移行支援や社会資源の活用を含めて学びます。</p> <p>担当者は訪問看護ステーションで勤務している経験豊かな臨床指導者やスタッフ、在宅看護の臨床経験のある専任教員が行います。専任教員は、教育実践力の向上のため、訪問看護ステーション研修や関連する研修に参加しています。</p>				
科目	科目名	在宅看護概論	在宅生活援助技術	在宅療養者の状態別看護	医療依存度の高い在宅療養者の看護
	単位時間	1単位 30時間	1単位 15時間	1単位 15時間	1単位 30時間
	学習範囲	1.在宅看護の目的 2.在宅看護の対象者と生活 3.保健医療福祉と在宅看護 4.在宅ケアを支える訪問看護ステーション 5.地域連携と継続看護 6.在宅看護の特徴	1.在宅における日常生活援助 パフォーマンス課題「在宅でその人らしく生活するための援助」を考える	1.精神疾患の療養者のケア 2.認知症の療養者のケア 3.難病で療養する人のケア 4.終末期の療養者に対するケア 5.小児の療養者に対するケア 6.生活自立困難者へのケア	1.在宅における感染予防 2.薬物療法と服薬管理 3.在宅酸素療法・在宅人工呼吸器療法 4.在宅における訪問技術 5.膀胱留置カテーテル法 6.在宅経管栄養・胃瘻 7.在宅中心静脈栄養法 8.在宅褥瘡管理・おむつ交換
目	科目名	在宅看護論実習			
	単位時間	2単位 90時間			
構成	概要	<p>在宅看護論実習は、地域に住むあらゆる人々が、住み慣れた場所でその人らしい生活を送ることができるように支援することを学びます。実習を通してそれらを支える多職種連携や地域における社会資源についても学びます。</p> <p>保健所・保健センター実習では、住民の健康を守るため、どのように疾病予防や健康増進に向けた取り組みをしているのかを学びます。デイケア・デイサービス実習は加齢や疾病を伴う障害のある人が、居宅サービスを受けながらその人らしい生活を送るための支援について学びます。訪問看護ステーション実習では、加齢や障害のある人の居宅に、訪問看護師と共に向いて看護をする実習です。3施設の実習を体験し、地域に住む、あらゆる人々にとっての多職種連携や社会資源を活用することの意義を理解し、在宅看護について自分の考えを明らかにしていきます。</p> <p>担当は、保健所・保健センター、施設、訪問看護ステーションで働く経験豊かな保健師や看護師が専任教員と連携を図りながら指導に当たります。</p>			